学校番号	T3015

令和８年度　数学科

教　科	数学	科　目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新　高校の数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

じっくり学べば必ず理解できるようになる。
考える力や創造する力を高めましょう。

2　学習の到達目標

基礎的な計算力と基本的な問題解決能力を身に付け、数学の基礎学力の定着を図る。また、数学Ａの内容について理解すると同時に基本的な知識および応用的な知識の習得と活用技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともにそれらを活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活との関連を図りながら、基本的な概念を理解し、知識を身に付ける。また、これらを用いて事象を数学的に処理する技能を身に付ける。	様々な事象を考え、知識を活用して物事を数学的に判断する力を身に付ける。さらに、その過程や結果を数学的に表現する。	順列、組合せ、確率などに関心をもつとともに、数学の良さを認識する。また、事象の考察に対して積極的に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	集合	集合の要素の個数 和集合 積集合	a:集合の概念と要素の数え方を理解する。 b:知識をもとに、数学的に事象を比較・判断することができる。 c:具体的な事象の考察に集合の考え方を活用しようとしている。	机間指導 小テスト 考査	机間指導 小テスト 考査	机間指導
	場合の数	場合の数 順列 組合せ	a:順列、組合せの公式を理解し、利用することができる。 b:公式の導出を考える。 c:具体的な事象の考察に順列や組合せを活用しようとしている。	机間指導 小テスト 考査	机間指導 小テスト 考査	机間指導
後期	確率	事象と確率 確率の基本的性質 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件付き確率 期待値	a:確率の概念を理解し、様々な試行の確率を求めることができる。 b:具体的な事象から確率を導き出し、比較の手段として用いることができる。 c:具体的な事象の考察に確率の考え方を活用しようとしている。	机間指導 小テスト 考査	机間指導 小テスト 考査	机間指導

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度